

運転免許制度改正に伴う 消防団員確保のための取り組みは

問 平成二十九年三月の運転免許制度改正に伴い、沼津市消防団の車両を運転するためには、車両総重量の制限により準中型免許の取得が必要となるが、その取得費用の助成や車両整備に対する考えは。

答 危機管理監／現在、沼津市消防団に配備している車両は、全て新制度の普通免許では運転できないものであるため、消防団員確保の観点から、準中型免許の取得に対する支援制度



▲新制度において準中型免許が必要となる現在の車両

問 平成二十九年三月の運転免許制度改正に伴い、沼津市消防団の車両を運転するためには、車両総重量の制限により準中型免許の取得が必要となるが、その取得費用の助成や車両整備に対する考えは。

答 市長／約六万人が参加し、静岡県広域受援計画及び地域防災計画の検証や自主防災会との連携を前提とした訓練を行ったほか、各自主防災会が独自の訓練を行うなど、有意義なものであったと認識している。今後、住民の防災意識の高揚と知識の向上を主眼とした、より実践的な訓練の実施について検討していく。

梶 泰久

市内小中学校における 通学路の安全対策は

問 通学路の安全対策について、①平成二十六年度の二斉緊急合同点検で抽出した危険箇所への対応は。②各校からの要望への計画的な対応は。③老朽化した歩道橋への対応は。

答 建設部長／①要対策箇所五十三地点のうち、短期的な対策が可能な四十七カ所については完了しており、長期的な対応を要する箇所については引き続き関係機関との協議や補助金等の確保に努めていく。②関係機関との合同点検や安全対策の実施、その効果の把握や改善・充実といったPDCAサイクルの取り組みを市民と情報共有しながら進めていく。

③国の要領に基づく定期点検の結果を踏まえ、各道路管理者において補修工事等を行っているほか、国、県、市などで組織する静岡県道路メンテナンス会議において、課題の検討や進捗状況の確認等を行っている。

問 歩車分離式信号機の位置づけと交通ルールの周知方法は。

答 企画部長／歩車分離式信号機は、交差点で歩行者が安全に横断できるよう、道路形状等を考慮して設置されており、その横断方法などの交通ルールについては、関係機関・団体と連携し、街頭指導や交通安全教室を通じて周知徹底に努めていく。

霞 恵介

新中間処理施設の整備再開の判断は

問 市民生活のベースとなる一般廃棄物処理施設について、現施設が抱える問題点に対する認識は。

答 生活環境部長／建物は建設から四十年以上経過し、耐震性が低く、また、基幹改良工事から十五年経過した設備は支障なく運転しているが、一般的には稼働から二十年程度が限界とされており、安定操業へのリスクが増大していると認識している。

問 沼津市新中間処理施設整備基本計画において定めた整備スケジュールが延期されているが、①延期決定後の対応は。②再開の判断は。

答 市長／①学識経験者から意見を

聞くための検討会を開催するなど、事業再開に向け準備を進めているほか、平成二十九年一月には、反対していた市内自治会から条件つきで建設容認を得ることができた。②コストが基本計画で整理した範囲内となること、現施設が限界を迎える前に新施設を稼働させること、地元から同意を得るめど、この三つが全て整うことが理想だが、建てかえ必至の状況になれば再開の判断が必要と考えており、その時期を見誤らないよう、慎重かつ早期に検討を進めるとともに、事業再開後は遅滞なく作業が進められるよう努めていく。

真野 彰一

地域の自主防災組織と フードバンクふじのくにの連携は

問 自主防災組織の消費期限間近の備蓄食糧について、①活用方法は。②フードバンクに対する支援として有効活用するため、自主防災組織とフードバンクふじのくにを結びつける取り組みを行う考えは。

答 危機管理監／①防災訓練等における炊き出し訓練での使用が考えられるが、災害時の使用を前提とし、消費期限などを踏まえ適切に管理される必要があることから、防災指導員を通じて管理簿作成等の必要性などを紹介していく。②今後、自治会連合会の定例会や防災指導員の研修の機会等を捉え、フードバンクに関

する趣旨説明を行うなど、連携を促す取り組みを積極的に進めていく。

問 沼津市空き家等の適正管理及び有効活用に関する条例の制定効果について、①空き家の実態調査及び所有者特定状況は。②空き家所有者に対する行政指導の状況は。

答 都市計画部長／①制定前の平成二十六年度と制定後の二十七年年度の比較では、実態調査件数が二十一件から三十一件に、所有者特定が十四件から三十一件に増加した。②制定後から平成二十九年八月までに百四十三件の空き家情報の提供があり、百五件に対し助言・指導を実施した。

渡部 一二実